

2014年10月吉日

各位

2014年度 TCC ホール・オブ・フェイムは 小野田隆雄氏に決定

東京コピーライターズクラブ(略称:TCC、会長:仲畑貴志)は、本年度 TCC ホール・オブ・フェイムを小野田隆雄氏に決定しました。(選考理由は別紙のとおりです)

TCC ホール・オブ・フェイムは、その名の通りコピーの「名誉殿堂」。広告コピーのクオリティと、社会的評価を高めるうえで顕著な功績を残された先達を称え、その偉大な業績を後世に伝えるために2003年から制定された顕彰制度で、今年は12年目になります。TCC に在籍30年以上の会員および現職幹事会員の意見を参考とし、17名の選考委員がさまざまな観点から検討して、顕彰対象者を決定します。尚、ホール・オブ・フェイム顕彰式は2014年10月29日(水)に、TCC 賞授賞式と併せて執り行われる予定です。ぜひ、ご高覧・ご取材いただきたく、ご案内申し上げます。



<小野田隆雄氏近影、撮影:広川泰士氏>



<「恋は、遠い日の花火ではない。」サントリー>

【お問い合わせ先】

東京コピーライターズクラブ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-7-15

TEL: 03-5774-5400 / FAX: 03-3406-7433

Email: office @tcc.gr.jp URL: www.tcc.gr.jp

担当: 事務局 佐藤・矢間

■2014年度ホール・オブ・フェイム 小野田隆雄氏

<選考理由>

「恋は、遠い日の花火ではない。」「近道なんか、なかったぜ。」(サントリー)、「ほほ ほんのり染めて」「春なのにコスモスみたい」「ゆれる、まなざし」(資生堂)など、日本語の美しさを活かした広告コピー表現によって多くの日本人の感受性をとらえた。資生堂、サントリーという広告文化の中心的位置で、時代をリードしつづけ、著作『職業、コピーライター』では日本の広告史とその啓蒙に功績を残した。また、長年 TCC 副会長を務めクラブ組織に貢献した。

<プロフィール>

1942年栃木県足利市生まれ。1966年東京都立大学人文学部卒。同年株式会社資生堂宣伝部入社。1983年独立、個人事務所経営。2001年よりエフクリエイション株式会社クリエイティブディレクター兼務。主なクライアント、資生堂、サントリー、三菱自動車、パルコ、東急百貨店、ライフネット生命など。TCC賞、朝日広告賞など受賞。主な著書『イル・バルサミコ』『風に向かって咲く花』(共に求龍堂)、『職業、コピーライター』(バジリコ株式会社)など。

■TCC ホール・オブ・フェイム選考委員会

座長：朝倉勇 副座長：鈴木康之 選考委員：秋山晶・清水啓一郎・一倉宏・小野田隆雄・多比羅孝・仲畑貴志・中村禎・西村佳也・秋山好朗・田口道明・野澤友宏・吉沢佳子・谷山雅計・吉岡虎太郎

■2014年度 HALL OF FAME 顕彰式のご案内

日時：2014年10月29日(水) 17:30開場 18:00開式 ※TCC賞授賞式と併せて執り行われます。

場所：ホテルニューオータニ 芙蓉の間 東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL：03-3265-1111

■東京コピーライターズクラブについて

東京コピーライターズクラブ(TCC)は、日本全国で活躍するコピーライターとCMプランナーの団体。1958年に結成された「コピー十日会」を前身に、1962年に発足し翌1963年から毎年秋に「コピー年鑑」を発刊しています。現在、会員は約890名。毎年春に、前年度に実際に使用された広告の中から、優秀作品を選出し、その制作者を「TCC賞」受賞者とし発表しています。

■これまでのホール・オブ・フェイム一覧(敬称略/※2007年度は顕彰者なし)

2003：土屋耕一・開高健・梶祐輔

2004：上野壮夫・西尾忠久

2005：片岡俊郎

2006：黒須田伸次郎・竹岡美砂・向秀男

2008：新井静一郎・山口瞳

2009：秋山晶・近藤朔・天野祐吉

2010：朝倉勇・赤井恒和

2011：清水啓一郎・鈴木康之・坂本進

2012：糸井重里

2013：西村佳也・眞木準

以上